

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

公表：令和2年 4月 1日

事業所名 クオリティオブライフ千波支援教室

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		利用人数やカリキュラムの内容によっては狭いと感じてしまうことがあるが、場所や向きを変えながら安全に出来るように心がけている。また、支援で別空間を作りたいときなどは二階も利用している。
	② 職員の配置数は適切であるか		○		一人の児童に対し一人の職員が付く事があると職員が足りないと感じてしまう事もある。適切な人員配置はしている。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		トイレや入口には段差が少しあるがその他はフラットである。トイレは1つであり狭くも感じる。死角もある。
業務 改善	④ 業務改善を図るためにPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年アンケート調査結果の内容（意見）を把握し業務改善に繋げている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修機会を確保しているか	○			年2回以上の研修を受けている。看護研修などの研修に参加をした。
適切 な支 援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成しているか	○			
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			カリキュラム内容を提案するにあたり毎回職員で話し合いをして内容を決めている。
	⑫ 活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	○			季節に合った工作や壁面、集団学習等週2回あるが座学や動きのあるものなど変化をつけている。また、支援の目的は一緒でも内容は変えるようにしている。
	⑬ 平日・休日・長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			平日は教室ごとに行うカリキュラムの内容を決めている。土曜や長期休暇時のカリキュラムが固定の場合でも利用者のレベルに合わせて工夫をしている。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮ 支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後、送迎中や支援中に気付いたことを話す場を設けている。意見交流をすることで普段のコミュニケーションも取れている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			会社で使用しているHUGを使用し毎日の支援の様子や記録を残している。また別に報告書でも残す事がある。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			奇数月に全児童のモニタリングを行っている。また職員で担当の児童を決めて行っている。その担当者で児童について話し合っている。
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○				
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			会議には参加し、その時は管理者が参加した。	
㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校によっては下校時間の時刻表をいただき確認しています。その他わからない事は保護者や学校に直接聞き把握に努めています。	

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

関係機関や保護者との連携	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在の所医療的ケアを必要とする児童はいない。各教室ごとに年2回医師による健康診断を利用者一人一人に行っている。	
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等間で情報共有と相互理解に努めているか		○		
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか			○	今年はコロナの影響の為活動する機会を設けられなかった。
	㉕	協議会等へ積極的に参加しているか			○	今年はコロナの影響の為活動する機会を設けられなかった。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎回送迎時にその日の様子や支援内容をお伝えしている。また、家庭の様子も伺っている。その他にもHUGマイページに様子を書いて掲載している。
保護者への説明的責任等	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		
	㉘	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に内容の説明は行っている。
	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			保護者から相談等あった際には利用者自身に合った助言をすると共に、意見交換を行っている。
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		令和2年度は2回企画していたが、コロナ禍である事から1回開催した。
	㉛	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった場合には、保護者様からの話しを聞き必要性があれば担当者会議を開いている。また対応には迅速に対応できる体制を整えている。
	㉜	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月会報として「くおりにだより」を保護者へ配布している。その他にも毎日教室の活動の様子をブログであげている。
	㉝	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付きの棚に保管をしている。写真掲載NGリストを作り、リストを見ながら写真公開をしている。
非常時の対応	㉞	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			保護者さまとのコミュニケーションをとるように心がけている。
	㉟	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域主催のお祭り等に参加したり、一般に方も来場できる発表会などを開催はしているが、まだ認知度が低く思うような交流する機会は確保できていないように思う。
	㊱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	㊲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回以上の避難訓練を行っている。
	㊳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	○			毎年虐待の研修は行っています。
	㊴	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			事前に説明を行い保護者から同意をいただいている。
	㊵	食物アレルギーの子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			今のところアレルギーの児童はいないが、血液検査結果を提出していただき把握に努めている。
㊶	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			各教室の代表者が集まる会議でヒヤリハットの事例を持ち寄り教室職員へ内容を共有し未然に防ぐ意識をしている。	